

学校図書館だより 番外編

学校図書館だより第2号でもお知らせしましたが、お休みが長くなり、学校から借りた本を読んでしまった人も多いと思います。

そこで、今まで読んだしまった本でも楽しめることをしようかいしたいと思います。

みなさんは、本を読みながら、いろいろなことを想像していると思います。

読んだ本の中で、気に入ったところや本のイメージ、登場人物を想像して絵にかいてみてはいかがですか。

山田さやか先生が かいた 物語の絵です。

「宮沢賢治の物語」 シリーズ

絵をみながら
文章を読んで
みましょう。
お話のようす
がよく伝わり
ますね。



「水仙月の四日」

雪童子はわらいながら、手にもっていたやどりぎの枝を、ぶいっとこどもになげつけました。枝は、まるで弾丸のようにまっすぐに飛んで行って、たしかに子供の目の前に落ちました。

子供はびっくりして枝をひろって、きよろきよろあちこちを見まわしています。雪童子はわらって、革むちを一つひゅうと鳴らしました。

すると、雲もなく研きあげられたような群青の空から、まっ白な雪が、さぎの毛のように、いちめんに落ちてきました。それは下の平原の雪や、ビール色の日光、茶いろのひのきでできあがった、しずかな奇麗な日曜日を、一そう美しくしたのです。

「よだかの星」

それからしばらくたってよだかははっきりまなこをひらきました。そして自分のからだがいま燐の火のような青い美しい光になって、しずかにもえているのを見ました。すぐとなりは、カシオピア座でした。天の川の青じろいひかりが、すぐうしろになっ
ていました。
そしてよだかの星はもえつづけました。いつまでもいつまでももえつづけました。
いまでもまだもえています。



みなさんだったら
どんな絵をかきますか。



「銀河鉄道の夜」

絵からどんなことを
思い浮かべますか

みなさんも
さやか先生のように
物語の絵にちょうせん
してみませんか！
かいた絵は、ぜひ
学校にもって
きてください！

「あおぞら図書館」（火・木 9:30～11:15）
では、本で調べたことをメモしたり、おりがみの本を見ながらおりがみをしたりしているおともだちもいます。

本を読むだけでなく、本を使って楽しくすごすこともできますよ。ぜひ、来て近くにいる先生に相談してください！

★「こんな本が読みたい！」というリクエストがあったら教えてください。ブックトラックにならべたいと思います。

